

環境・施設

福利厚生や院内施設など、安心して働ける環境を整えています。閑静な住宅街に位置し、主要スポットへのアクセスも良好です。充実したアフターワークを過ごすことができます。

近隣環境



余暇にはボルダリングでリフレッシュ！
体力づくりにもなります！



休日に先輩のお宅でバーベキュー！
職場のみんなで押し掛けました！



日本赤十字社医療センター



当センターへリポートにて。



中目黒でお花見。
目黒川を覆う桜が
とてもきれいです。



広尾のおしゃれなレストランで
同僚と食事。肉三昧！



東京タワーのイルミネーションを
眺めながらお散歩。

福利厚生

子育て支援

育児支援制度が整っており、子育てと仕事を両立しやすい環境があります。育児をしながらもキャリアアップをめざすパパやママを応援します。



院内宿舎・借上宿舎

希望により院内職員宿舎(写真)または借上宿舎に入居できます。敷地内にある院内宿舎は立地の利便性はもちろん室内も広く、家賃もリーズナブルです。生協の宅配を利用できるなど、生活サポートも充実しています。借上宿舎は、特定の不動産業者が提示する物件の中から好きなものを選ぶことができます。月々の補助に加え、契約時の諸経費も当センターが負担するので、かなりお得です。信頼できる管理会社さんにお任せしていますので、セキュリティも万全です。



院内施設



コンビニ ※職員は表示価格から2割引
充実した品揃えで、お弁当の種類も豊富。プリペイドカード利用でキャッシュレス可能です。



タリーズコーヒー
落ち着けるカフェ空間です。患者さんだけでなく職員も利用しています。カフェインレスメニューもあります。



図書室
24時間・無休の図書室。全赤十字施設で共通の文献検索システムを利用でき、文献の取り寄せもサポート。



社員食堂
おいしくてボリュームのあるワンコインランチが自慢。お弁当の販売も行っています。

Q&A

新しい職場、環境に踏み出すとき、色々なことが気になって不安になるものです。

職場の人間関係や仕事の様子、また休日の過ごし方についてなど

よくある質問・疑問に先輩ナースがお答えします。

実体験に基づく「生の声」を参考にしてみましょう。



Q1 職場の人間関係はどうですか？

A1 専門職として真剣に取り組んでいるので、厳しい指摘を受けることもあります。気を引き締めて学ぶことも多いですが、困った時には支え合い、仕事の合間にはたくさんの笑顔があふれる職場です。

Q2 お休みはとれますか？ まとまった休暇はとれますか？

A2 週休2日制です。交代制勤務なので、学生時代のように土日祝が必ずしも休みではありませんが、平日の空いている時間を楽しむことができます。また、年単位で1週間程度の休暇を交代で取っています。

Q3 夜勤が不安です。 新人ナースでも務まるでしょうか？

A3 慣れるには時間がかかりますが、新人にも務まるように先輩たちが支援してくれます。慣れてくるとだんだん、夜勤明けの時間を上手に利用して楽しめるようになります。

Q4 初めてのひとり暮らし。安全に楽しく 過ごすための秘訣はありますか？

A4 新卒の同期が複数いるので、不安な時期の心細さを共有できました。ひとり暮らしの先輩も多いので、生活の知恵を教えてもらっています。病院の近くは、学校や大使館などゆったりした敷地の建物が多く、治安の良いところです。

Q5 学生時代から 準備できることはありますか？

A5 看護職の仕事で、まず大事なのは「体力」と「へこたれない心」です。座学が多かった学生時代に比べて、立ち仕事や力仕事が多いので、身体を鍛えておくことをお勧めします。スポーツや部活動、アルバイトなど、チームで協力して成し遂げる経験があるといいかな。

Q6 赤十字の教育機関出身だと有利ですか？

A6 赤十字の大学や看護学校の出身者は約4割で、半数以上は就職してから赤十字の仲間になっています。就職後の研修やラダーも新人の期間は同じように進み、出身校による差はありません。もし機会があれば、地方で開催される赤十字救急法を受講しておくことをお勧めします。

Q7 オンとオフを切り替えるために 工夫していることはありますか？

A7 通勤時間もオフタイムと考え、好きな音楽を聴いたり、本を読んだりして過ごしています。仕事でつまづいたときは、家まで引きずらないよう気分転換して帰ります。自分なりのスイッチを見つけるのがコツ。

Q8 地方出身者ですが、 早く環境に慣れるには？

A8 当センターの看護職員は、東京出身が約3割。関東圏で約3割。あとは全国から集まっています。地方出身者だからといって、早く慣れる必要はありません。東京都は地方出身者が多く、患者さんも国籍含めて多様性に富んでいるので、焦らずにこの環境を楽しめると良いですね。